

平成27年11月20日

茨城県知事 橋本 昌 様  
茨城県教育委員会教育長 小野寺 俊 様

公益財団法人日本ダウン症協会  
代表理事 玉井邦夫

## 質問状

### 前略

当協会は、ダウン症のある人たちとその家族、支援者を会員とし、ダウン症に関する普及啓発、情報提供、調査研究、家族や支援者への相談活動等を行っている全国組織です。

18日に開催された茨城県総合教育会議の中で行われた、「茨城では障害児の出産を減らす」「障害のある子どもの出産を防げるものなら防いだ方がいい」等の長谷川教育委員の発言につきまして、現在臨床研究として行われている新型出生前検査の対象となっているダウン症候群（21トリソミー）の会員や関係者の方から、不安や遺憾を覚えるといったご意見が当協会に寄せられています。

当協会としては、「障害のある子どもやその保護者を追いつめるような発言はあってはならない。長谷川教育委員の発言は、障害イコール負担という、障害のある子どもやその保護者への想像力を欠いた、教育委員として不見識な発言であり、障害のある子どもやその保護者だけでなく妊婦にも圧力になりかねない。」と考えております。

茨城県教育委員会のHPには、19日長谷川教育委員の発言を撤回する旨のコメントが掲載されておりますが、当協会といたしましては、下記を含む本件の事実関係の確認と説明を要請いたしますので早急な回答をお願い申し上げます。

草々

### 記

- ① 18日に開催された県総合教育会議において、長谷川教育委員の上記発言がなされた経緯及び発言の正確な内容及び趣旨、上記発言に対する他の出席者の対応
- ② 朝日新聞の記事によれば、橋本知事は、長谷川教育委員の発言について「問題ない」と話したとありますが、橋本知事の発言の正確な内容及び趣旨

以上